



A Tribute to Randy Rhoads Project

featuring Kelle Rhoads, Kelly Garni and Ronny North

A Tribute to Randy Rhoads Project featuring Kelle Rhoads, Kelly Garni and Ronny North

アメリカでは毎年、ランディ・ローズの命日である3月19日と誕生日の12月6日に、ハリウッドで開催される RHOADS FEST(ローズ・フェスト)はいくつかのトリビュート・バンドが中心となってライブを行っている。ランディの実兄、ケリー・ローズや、子供の頃からの親友であり、ランディと結成したバンドクワイエット・ライオットのオリジナル・ベースプレイヤー、ケリー・ガルニ等はゲストとしてそのイベントに参加して来たが、クワイエット・ライオットのアルバム・デビューから22年となる今年、日本で「Randy Rhoads Tribute Live 2010」が行われる運びとなった。今回はランディの遺族である兄、ケリー・ローズ、そしてケリー・ガルニの強い希望もあり、彼らの仲間のギタリスト、ロニー・ノースを引き連れて、3月に東京、名古屋で開催されるトリビュート・ライブにスペシャル・ゲストとしてこの3名が急遽来日決定！

若くしてこの世を去った天才ギタリストを偲んで、彼の肉親や親友といった貴重なゲストと共にロック・ファンは緊急集結すべく！



スペシャル・ゲスト

ヴォーカル：(右)

ケル・ローズ
Kelle Rhoads

ベース：(中央)

ケリー・ガルニ
Kelly Garni

ギター：(左)

ロニー・ノース
Ronny North

2010/3/16 (火)
Special Memorial Night~
Unplugged Show
CLUB HOLIDAY 新宿

2010/3/18(木)
CLUB HOLIDAY 新宿

2010/3/19(金)
CLUB HOLIDAY 名古屋

Memorial Night~Unplugged Show

Kelle Rhoadsのソロ・ピアノ演奏、Kelle Rhoads/Kelly Garni/Ronny North3人によるアコースティックライブ、出演者全員を交えてのトーク、Q&A、思い出に残るビデオ・クリップ等、ランディー・ローズ・ファンとの追悼&交流のメモリアルプレミアム・イベントとなります。



2010.3.18(木)@HOLIDAY SHINJUKU

OPEN 18:00 / START 19:00

S - VIP (VIPチケット) adv ¥7,000/ door¥7,500(プレゼント付き・ドリンク別)

A (Aノーマルチケット) adv ¥5,000/ door¥5,500(プレゼント無し・ドリンク別)

Piano Solo~Unplugged Show

* S-VIPチケット特典

①全員にオフィシャル・ラミネートTOURパスを進呈。

②サイン入り公式パンフレットをプレゼント。

③Kelle Rhoads, Kelly Garni and Ronny Northとの記念撮影会(チェキ・ポラ)。

Piano Solo~Unplugged Show

出演: Kelle Rhoads/Kelly Garni/Ronny North.

進行: 小島裕史、他 ゲスト: 中間英明、宮澤佑門、他 DJ: DJ TAKE、他

ランディー・ローズに関わる数々の取材、記事の執筆を行ってきたランディー・ローズ研究家の小島裕史氏がランディー・ローズに関する秘話、そして兄ケリー・ローズ、親友&クワイエット・ライオット時代のオリジナル・メンバー、ケリー・ガルニに直撃トーク。ファンの方々とのコミュニケーションの場を設け、それぞれの思いを語り合います。会場ではこのイベント限スペシャル・グッズの販売、メンバーとのMeet&Greet、握手会なども実施し、日本に長い間行きたいと望んでいたランディーに代わって、メンバーのみんながファンとの交流を深めます。

CLUB HOLIDAY presents Tribute To Randy Rhoads featuring Kelle Rhoads / Kelly Garni / Ronny North

2010.3.18(木)@HOLIDAY SHINJUKU

2010.3.19(金)@HOLIDAY NAGOYA

OPEN 17:30 / START 18:00 adv¥5,000/door¥5,500(D別)

出演: Kelle Rhoads, Kelly Garni and Ronny North. ゲスト: 中間英明、宮澤佑門、他
Ozzy Osbourne & Quiet Riot Tribute featuring Destrose / DJ DJ TAKE / 進行: 小島裕史、他

Kelle Rhoads/Kelly Garni/Ronny North.のスペシャルライブ。ゲストにランディー・ローズをリスペクトする中間英明氏、小学生でありながらオジーと共演した宮澤佑門君が参加。クワイエット・ライオット、オジー・オズボーンのトリビュートバンド・デストローズのライブ。DJ TAKEIによるメモリアル・ランディー・ローズ・トリビュートCLUB DJ。トーク進行:ランディー・ローズに関する数々の記事の執筆、ボルカドットVのレプリカの制作などそのマニアぶりに定評があるランディー・ローズ研究家、小島裕史。

※チケット発売日:2月27日(土)一斉発売 チケットぴあイープラスディスクヘブン各店(東京・名古屋・大阪)クラブホリデー各店(東京・名古屋・大阪)総合問い合わせ METAL GATHERING 事務局: 03-5292-1118 CLUB HOLIDAY 新宿: 03-5292-0591
※スペシャル先行優先予約 2/23(月)~25(木) 電話受付 METAL GATHERING 事務局: 03-5292-1118(13時~20時)
メール受付 metalgathering@gmail.com 代金振込は、2/26(金)まで。チケット代+送料手数料¥500
※先行優先予約でチケット購入のお客様のみプレミアム・ピクチャーチケット(Randy Rhoads写真入り)を送付。



ヴォーカル: **ケリー・ローズ Kelle Rhoads**

ランディ・ローズの兄。ケリーもまたランディと同様、音楽教室Mursioniaでクラシック音楽を中心とした環境で育った。ケリーは70年頃ドラマーとして、弟ランディとVIOLET FOXを結成。後にシンガーとして多数のローカル・バンドを経験する。自身のバンド、RHOADSでは、あのFORGHATのサポート・アクトとしてツアーを回る。いくつかのソロ・プロジェクトを経て、暫くブラジルのバンドETERNITYに参加し、頻繁に南米に渡っていた事も。90年代前半より、ピアノでの作曲が自分に最も適した音楽表現法だと悟り、2005年、アルバム『Titanic Overture』の「Radio Sequence」ではランディ・ローズの'78年のソロ音源を用いて共演。2007年、『Portraits of Oblivion』制作、2008年からケリー・ガルニとランディ・トリビュート関連のイベントに参加し、2人でNO SKY TODAYを結成。40年来の弟の親友との友情を、音楽を通して大切にしている。

ベース: **ケリー・ガルニ Kelly Garni**

ケリーの最も重要な存在となったランディ・ローズと学校で知り合ったのは11歳の時だった。親友となったランディの家に頻繁に遊びに行き、6歳からギターを始めたランディ、ドラムを叩いていたランディの兄ケリーに触発され、ベースを始める。13歳の時にはすでにランディとローカル・クラブでライブを行った。1975年にクワイエット・ライオットを結成し、1978年にアルバム『静かなる暴動』でデビュー。日本のみで発売され、アメリカでは非発売だったが、ランディと共にした歴史に刻まれた貴重な作品となった。19歳の時に将来の選択の為にバンドを辞め、10年間救急隊員として務める。ケリーの脱退の数ヵ月後、ランディはオジー・オズボーンに誘われる事で運命が変わった。ケリーは決して音楽を捨てず、今日もランディの兄ケリー、ギタリスト、ロニー・ノースと音楽活動を続けている。

ギター: **ロニー・ノース Ronny North**

ケリー・ローズとケリー・ガルニの共通の友人であるロニー・ノースはロサンゼルス在住のギタリスト。今までポイズン、エリック・シンガー (KISS)、ケリ・ケリー (アリス・クーパー)、ジェームス・コタック (スコピオンズ) などと演奏やレコーディングをした経験も持ち、2006年、“All Access Magazine Music Awards”でBest Male Guitaristに選ばれる。様々な機材のエンドースメントを受け、アメリカ各地やヨーロッパをギタークリニックで回ったり、最近ではハイチ地震被災者の救済チャリティーや昨年同様LAマラソンにてパフォーマンスを行う等、様々なイベントに多数出演。また、MTVや日本で諸々ロニーのインスト曲が各方面で起用されている。“Guitar International Magazine” (Psyko Guitar) や “Insane Guitar Magazines” などのコラムに連載を連載中。南カリフォルニアのギターヒーロー的存在だ。



Kelle Rhoads



Kelly Garni & Ronny North

Randy Rhoads

(1956.12.6 - 1982.3.19)

- ヘヴィメタル界の異端児、オジー・オズボーンのバンドのギタリストとしてツアー中、1982年3月19日、不慮の飛行機事故により他界してしまった美しきギターヒーロー、ランディ・ローズ。
- 母親は音楽教室を営むという環境の中、6歳の時にギターを弾き始める。最初はクラシック・ギターを学び、8歳の時にエレクトリック・ギターに興味を持つが、10代前半にして当時のギター教師は「これ以上、彼に教えるものはない」と言わせる才能を持っていた。母から理論や読譜法も学び、クラシックの影響も後に彼のギタースタイルには大きく反映している。
- 14歳の時にドラムを叩く兄のケルと共に最初のバンドを結成。そしてデビュー前は母の音楽教室でギターを教えながら、学校の親友ケリー・ガルニとクワイエット・ライオットしてロサンゼルスでローカル・クラブで頻りにライブを行う。



- 1978年3月、当時のCBSソニーより独自の企画でアルバム『QUIET RIOT』(邦題「静かなる暴動」)でデビュー。その端正な貴公子的ルックスも手伝って、すぐさま日本の各音楽雑誌で取り上げられる。同年12月に発売されたセカンド・アルバム『QUIET RIOT II(邦題「暴動に明日はない」)』のリリース前に、ベースのケリー・ガルニが脱退。後任に現在ディオやブルー・オイスター・カルトで活躍するルディ・サーゾが加入。
- 1979年、ルディや他の音楽仲間の勧めで何となく受けてみた、ブラック・サバスを脱退したばかりのオジー・オズボーンのオーディションに合格。演奏する前にチューニングしている最中に「合格！」と言われたのは、「目の前に天使がいるように見えた！」と思ったほど、並大抵ではないオーラが漂っていたからというエピソードは有名。
- オジーにすっかり気に入られたランディは、オジー・オズボーン&ブリザード・オブ・オズに参加。アルバムもヒットし、ツアーに明け暮れる日々の中、ようやくトップ・ギタリストの道を歩き始めた矢先に悲劇が彼を奪った。1982年3月19日、ツアー先のフロリダ州レスバークでバス・ドライバーが操縦した小型飛行機が墜落。ランディを含んだ同乗者は全員帰らぬ人へ。
- ランディのアグレッシヴで個性に満ち溢れたギタースタイルは、ヘヴィメタルにクラシカルな要素を融合させた革命的なアドリブを生み出し、音楽がヘヴィでありながらも、知的でメロディアスなフレーズは今でも聴く者の心を魅了してやまない。